

《 人間形成教育センター 》

令和7(2025)年度模擬授業

No.	テーマ	概要	講師	関連する 高校教科	オンライン 対応
25H001	経済社会と数学 ～確率を中心に～	経済社会において、お金は非常に重要な役割を果たしています。でも、お金ってそもそも何なんでしょう？より良い人生のために、一生ものの確率的思考を身に付けることを目指して、お金を数学的に考えるとともに、「ツキ」などを確率的に検討したいと思います。	副センター長 准教授 久保 奨	数学	○
25H002	東アジアの英語 教育とコミュニ ケーション不安	日本では90年代からコミュニケーション重視の英語教育が始まり、英語の授業はコミュニケーションの場となるが多くなっていますが、日本人の英語でのコミュニケーション能力は文科省の期待通りには向上していないのが現状です。TOEICの平均スコアが日本よりもかなり高い韓国や台湾等の近隣諸国と大学入試問題も含めた英語教育について比較し、実践的なコミュニケーション能力育成の弊害となるコミュニケーション不安や外国語学習不安についてお話しします。	教授 中村 弘子	英語	
25H003	What are World Englishes?	現在は国際共通語としての英語(English as a lingua franca)の概念が主流です。母語話者を目標とするのではなく、どんな相手にも聞きやすい分かりやすい、使える英語を意識させる必要性が高まった。このような状況にある日本の英語の教育方法と学習方法の欠点についてお話しします。また、本学のIntensive Englishプログラムの特徴であるコミュニケーション能力中心の訓練方法について紹介します。	教授 徳山 瑞文	英語	
25H004	数学における構 成主義	「方程式の解が存在する」という命題を証明するとき、2通りの論法が考えられます。1つは「その方程式の解は存在しない」ということを仮定して矛盾を帰結させるというものであり、もう1つは「その方程式の解の計算の仕方を示す」というものです。多くの人々は比較的容易に証明が与えられればどちらの論法でもよいという立場を取りますが、しかし、その「解の存在」を「コンピュータによって計算できるもの」と解釈したとき、前者の論法による証明は必ずしも「解の存在」を示しているとは言えません。そのような解釈の下では後者の論法による証明が求められます。この講義では、このように数学的存在をコンピュータによって計算できるものと解釈して理論が展開される構成的数学について、数学史の中で位置づけや、システム検証にける応用事例を紹介します。	教授 吉田 聡	数学 世界史 情報	○
25H005	プロジェクトの実 施から学ぶこと	公立鳥取環境大学の科目「プロジェクト研究」は思考力、判断力、表現力、主体性、多様性、協働性の6つの能力を高めることを目的とするアクティブラーニング科目です。そこでは、履修者が自らの力で課題解決に取り組み、その中でそれら6つの力を高めて行きます。この授業では、「プロジェクト研究」の実施例を紹介し、プロジェクトの立ち上げやチーム活動の仕方、また、そこから学ぶべきことについて紹介します。	教授 吉田 聡	総合的な 探究の時 間	○
25H006	生成AIを用いた Webページの作 成	生成AIとは、大量のデータを学習することで、画像や文章、音楽など多様な領域において自動的に新しいコンテンツを生み出すことができるAIを指します。この授業では生成AIを用いたWebページの作成演習を行うことで、効果的なプロンプト(生成AIに指示を与えるための命令文や質問)の書き方や生成AIの利用に関する留意事項を同時に学びます。	准教授 堀 磨伊也	情報	○
25H007	折り紙と数学	1枚の正方形の折り紙に対して、端と端がぴったり重なるように折れば、2等分に折り線を入れることができます。同じ操作をもう一度行うと4等分に折り線を入れることができます。それでは、定規で長さを測ることなく「折る」という操作で5等分に折り線を入れることはできるでしょうか？一緒に考えてみましょう。	講師 門田 慎也	数学	